

ときめく、ひろがる、みんなのワクワク!

県広報とやま

2025

1

January

NO.514

令和7年1月12日発行



とみら



特集1: 県庁周辺エリアから、まちの未来を考えてみませんか?

特集2: 電車・バスを使って快適にお出かけしよう!

未来へのヒントが満載。

「県庁周辺エリアアイデアコンペ」結果発表!

県では、富山の中心部にある「県庁周辺エリア」が、歩いて楽しい、幸せあふれるウェルビーイングな場所となるよう、エリアの未来の姿や持続可能な仕組みのアイデアを全国から広く募集しました。表紙では、応募総数64作品の中から選ばれた受賞作品を紹介します。いただいたアイデアは、今後の構想検討の参考にいたします。

受賞作品の
詳細はこちら▶



最優秀賞

KENCHO AMAZING PARK (ケンチョウ アメイジング パーク)

新しいウェルビーイングを育む、
アメイジングパークへ。



子育て世代が生き生きと働くことができる街

「県庁周辺の大きなエリアで、自由度の高い提案ができて」と参加を決めたという代表の中倉さん。都内や海外で活躍するメンバーで構想。富山県出身の中田朱音さんは「検討するほどポテンシャルの高さを感じた」と今後に期待を寄せました。



提案者

中倉 徹紀[東京大学大学院工学系研究科建築学専攻助教/
株式会社中倉徹紀建築都市設計] (前列右)
Aimi Zhang[株式会社中倉徹紀建築都市設計] (後列右)
丹部 一隆[メッシュ景観設計事務所 Tokyo] (後列中)
中田 朱音[メッシュ景観設計事務所 Tokyo] (前列左)
Masashi Nakamura[mesh landscapearchitects Hannover]
堀 智洋[東京大学工学部 建築学科] (後列左)

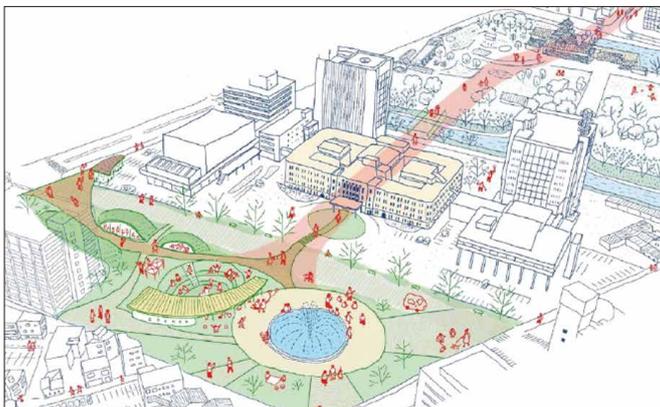
最優秀賞講評

県民や来街者のための居場所になるグリーンコリドー(緑の回廊)を中心とした明解な全体構成、市内電車や城址大通りを引き込んだインフラの大胆な提案、そしてきめ細やかな建築や空間の仕組みのデザイン。これらがしっかりと噛み合っているアイデアとして高く評価されました。

優秀賞

ザ フューチャー ヒストリー パーク
THE FUTURE HISTORY PARK

—過去、現在をつなぎ、未来を発信する都市公園—



入賞4作品



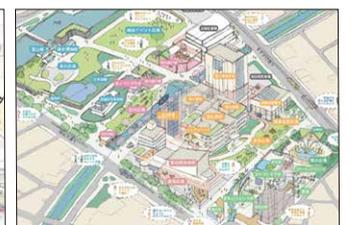
「とやま人(びと)」になる!



とやま結いの通り



おどりだす富山



とやま・パブリック・ライフをここから

県庁周辺エリアから、まちの未来を考えてみませんか？



富山のまちの中心にあり、歴史的資源や水辺、公園空間を備える「県庁周辺エリア」。県ではいま、この県庁周辺エリアの魅力や価値の向上を目指して取組みを進めています。

県庁周辺エリアってどこ？ どうして活性化に取り組むの？

県庁周辺エリア

富山県庁・県庁前公園・旧NHK富山放送会館跡地
+ 松川べり、富山城址公園などの周辺空間を含めた一帯



国土地理院撮影の空中写真(2021年撮影)をもとに作成

ここが Good!

県庁周辺エリアの強み

- 1 富山駅と商店街の間、まちの中心に位置。県庁と市役所が隣接する官庁街で、多くの行政職員や企業の従業員が存在。
- 2 公園や広場、緑地や水辺環境(松川)がある。歴史ある土地と建物があり、文化施設も充実。

ここが Bad!

それなのに...

- 1 富山駅から商店街へのにぎわいや人の流れを分断している。多くの働く人々にとって居心地の良い空間になっていない。
- 2 公園や緑地といった資源や環境を活かしたまちづくりができていない。店舗や娯楽施設が少なく、訪れたい場所が少ない。

まちの中心にある
広いエリアが
十分に活かしていない...

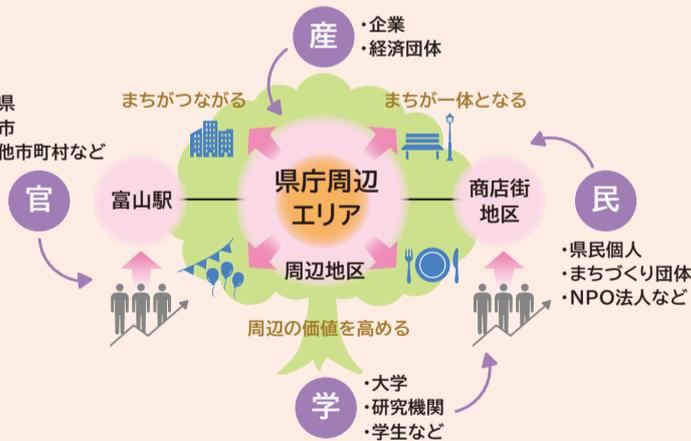
県都の玄関口である富山駅周辺から商店街地区との間に位置する「県庁周辺エリア」の活性化のため、未来の「ありたい姿」を整理しました

「県庁周辺エリアの3つのありたい姿」

令和5年度に①エリアの基礎調査、②関係者へのヒアリング、③県庁・市役所若手職員、富山大学の学生によるワークショップなどを開催し、「ありたい姿」を整理

- 1 歴史・水辺・緑を生かした憩いと楽しみの空間を形成する、訪れる人にとって「ウェルビーイング」なエリア
- 2 周辺街区との連続性・回遊性を高め、まち全体ににぎわいの好循環をもたらすエリア
- 3 富山のまちの核として、県内外から多様な人材を引き寄せ、県全体の活性化につながるエリア

皆さんは、どんなエリアになったらいいと思いますか？



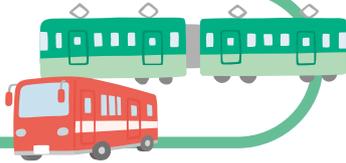
「ありたい姿」の実現に向けて基本構想を検討しています！

自分が過ごすまちの「もっとこうなったらいいな」を考えることが、魅力あるまちづくりの第一歩に。



県庁周辺エリアの活性化

電車・バスを使って快適にお出かけしよう！



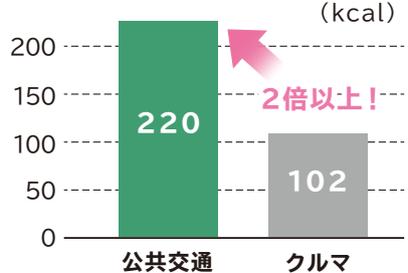
県では、公共交通をお得に利用できるキャンペーンや利便性を高める取組みを進めています。まずは公共交通を使ってみて、快適さやお得さを実感してみませんか。

知ってください！公共交通のメリット！

①電車・バスでダイエット？

- 1時間クルマで移動する代わりに公共交通で移動すると、118キロカロリーも多く消費できます。
- これを1年間続けると、約6kgの体脂肪を落とす効果に相当します。

1時間の移動に伴う消費カロリー



出典：第6次改訂日本人の栄養所要量

②節約効果大！？

- 総務省の家計調査によると、自動車関係の支出として、一世帯当たり年間約60万円かかっています。
- ガソリン価格が値上がりする昨今、通勤手段を電車・バスに置き換えると、大きな節約効果が見込めます。

自動車購入費
(年平均)

約30万円

ガソリン代

約10万円

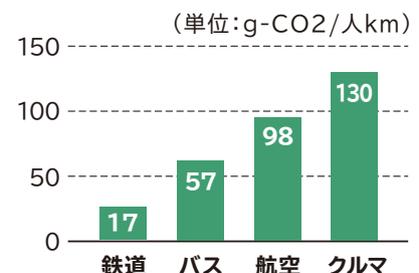
車検・保険料等

約20万円

出典：家計調査(2023)

③SDGsにも貢献！？

- 1人を1km運ぶのに排出されるCO₂排出量は、クルマと比べて、バスは半分以下、鉄道はなんと8分の1！
- SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて「一体何をすればいいの？」という方、まずは1日、電車・バスに乗ってみませんか？

1人を1km運ぶのに
排出されるCO₂量

出典：国土交通省ホームページ(2019)

お得なキャンペーン、サービスの紹介

「電車・バスで行こう！」
キャンペーン(2/21~3/15)キャンペーンの
詳細はこちら▼

対象路線の電車・バスに平日90分間、乗り継ぎ・乗り降り自由な乗車券(2回分の回数券)を300円で販売



とやまロケーションシステム



県内全域の電停・バス停等に二次元バーコード付きのステッカーを設置。お手持ちのスマートフォンでバーコードを読み取るだけで、当該電停・バス停の接近情報がわかります。

でんしゃ・バスまち店舗

ステッカーや
ミニのぼりが
目印！

(ステッカー) (ミニのぼり)

日差し強い日や雨・雪が降る日でも、近くのお店の中で、快適に電車やバスを待つことができます。

詳細はこちら▼



災害級の大雪が予想される時は、 皆様のご協力をお願いします!

災害級の大雪時には・・・



交通事故や車の立ち往生、凍結による転倒、ごみ収集の遅れ、物資の不足、停電などの発生が予想されます。

車での不要不急の外出を控えましょう!

運送事業者や荷主の皆様は、荷物の運送計画見直しをお願いします。

日頃からの備え

- 飲料、食料、燃料(灯油やカセットボンベ等)などの備蓄をお願いします。停電に備え、電源が必要ない暖房器具や懐中電灯、携帯ラジオ、カセットコンロなどを準備しましょう。
- 車にはスコップ、毛布、携帯トイレ等を積んでおきましょう。

除雪について

- 自宅周辺やごみ集積場・消火栓周辺の除雪、生活道路や歩道の除雪等、地域ぐるみでのご協力をお願いします。
- 雪下ろしは2人以上で行い、ヘルメットや命綱を着用しましょう。

皆さんの自助努力と地域での助け合いが大切です!

最新の気象情報や道路情報、公共交通の運行状況をチェック!

※県や各市町村が発信する最新情報も確認しましょう。

富山防災 WEB



スマホアプリ「雪みち富山」



▲Android

▲iOS

富山県道路情報



とやまロケーションシステム



富山県公式 X



◎この件のお問合せは 県民生活課 TEL.076-444-3131

ハチロウの きときと通信



2024年1月1日16時10分、富山県民がこれまで経験したことの無い激しい揺れが起きました。能登半島地震です。震災から一年、これまでに被災者支援パッケージや復旧・復興に向けた道のりを「見える化」する「富山県復旧・復興ロードマップ」の策定など、一日も早い復興に向けて全力で取り組んできました。

しかしながら、液状化被害をはじめ、今もなお不自由な生活・事業活動を余儀なくされている県民の皆様がおられます。私はこの地震を体験した者として、そして富山県知事として、引き続き一人ひとりに寄り添った支援を行っていきたく思います。

さらに、人口減少問題も大きな課題です。あらゆる手を打って立ち向かい、また、人口減少社会の中でも県民の皆さんが豊かな暮らしを実現するため、本県発展の礎となる「未来に向けた人づくり」、県民の皆様がいきいきと活躍する舞台をつくる「新しい社会経済システムの構築」を政策の柱に掲げ、市町村や民間企業、NPOのみなさんともワンチームとなり、取組みを着実に進めていきたいと思います。

富山県知事 **新田八朗**



○の中に言葉を入れてください。
富山県は、「○○周辺エリア」
の活性化に向けて
取組みを進めます!

正解者の中から
20名の方に
プレゼント!



べつばら富山「蒸ヨンカク2」
(松木菓子舗)

はがき応募:①~⑧の項目を全て記載のうえ、下記宛先まで。応募は1人1回までとし、当選の発表は、発送をもってかえさせていただきます。①クイズの答え、②郵便番号、③住所、④氏名、⑤電話番号、⑥年齢、⑦特に興味を持ったコーナー名⑧本紙の感想
※ご記入いただいた個人情報は、厳正な管理のもとで取り扱い、アンケート集計とプレゼント発送にのみ利用します。
宛先/〒930-8501 (住所記入不要) 県庁広報課「県広報とやま1月号クイズ係」 締切/1月31日(金)必着
◎前回(10月号)の答え…「寿司」 応募総数2184人 正解者数2180人 たくさんのご応募ありがとうございました。



WEBでのご応募はこちら▲

こども・若者の皆さん!

「富山県こどもの権利に関する条例(仮称)」素案への意見を募集しています

全てのこどもが将来にわたって幸せな状態(ウェルビーイング)で生活できる「こどもまんなか社会」の実現を図ることを目的に、条例素案をつくりました。こども・若者の皆さんのご意見をお聞かせください。

対象 小学生～20代までの方

募集期間 1月19日(日)まで

※資料の閲覧及び意見の提出は右の2次元コードからお願いします。

◎問合せ先:こども政策課 TEL.076-444-9683



▲意見募集フォーム

子育ての不安や悩み、「子育てほっとライン」で相談しませんか?

子育てに関する不安や悩みについて、ベテランの相談員が担当していますので、お気軽にお電話ください。

専用電話 076-433-4150(サーサ ヨイコノ)

相談時間 月～金曜日 17:00～21:00
※祝日および年末年始を除く

HP「子育てネッ!とやま」では、家庭教育や子育てに関する情報を提供しています。

◎問合せ先:県教育委員会 生涯学習・文化財室 TEL.076-444-3435

▲「子育てネッ!とやま」



県職員、こんな仕事
しています!

県庁おしごと人図鑑 Vol.4



所属

交通政策局
城端線・氷見線再構築推進課
奥村さん

富山の押しポイント

穏やかで誠実な人にたくさん
出会えるところ

普段の
お仕事

今年度から新たに設立された部署で、城端線・氷見線の再構築を推進する業務を担当しています。新型車両の導入、運行本数の増加、交通系ICカードへの対応など、利用者の皆さんの利便性向上を目指して日々取り組んでいます。これからも城端線・氷見線が笑顔であふれ、ワクワクする路線になるよう頑張ります!ぜひご期待ください!

県民のみなさんにひと言!

県外から富山に移住してもうすぐ1年。列車の窓から眺める立山連峰や田園風景には、時折心奪われるものがあります。普段あまり鉄道を使わない方も、時には鉄道を使ってみませんか?見慣れたまちの新たな風景に出会えますよ。

県内おでかけ情報

開催状況など最新の情報は、ホームページをご確認ください。

おでかけの参考に！



富山県観光公式サイト
とやま観光ナビ



富山に住む人にも、おすすめしたい！

「とやま観光ナビ」は、富山県の観光公式サイト。定番の観光地や旬の富山がわかる特集、最新のイベント情報やグルメなど、“出かけたくなる”情報が満載です。

◎この件のお問合せは 観光戦略課 TEL.076-444-3517

「イルミネーション特集」からピックアップ！

環水公園スイートイルミネーション

「富山のイルミネーション特集2024」はこちら▶



環水公園の冬の定番イルミネーション。光り輝くLEDが公園のシンボルである天門橋や、泉と滝の広場を彩り、幻想的な雰囲気に取り込みます。

期間 2月28日(金)まで
時間 17:00~22:00
場所 富岩運河環水公園
(富山市湊入船町)

旬のイベント情報も盛りだくさん！

観光定期路線バス「富山ぶりにバス」



富山駅前からバス1本！富山が誇る港町と絶景を巡ろう

期間 3月31日(月)まで



詳細はこちら▶

ひみぶりフェア

フェア参加店で脂ののった天然寒ブリ料理をぜひ

期間 2月28日(金)まで



◀ 詳細はこちら



県広報とやまに関するご連絡、ご質問はこちら

〒930-8501(住所記入不要)県庁広報課あて
TEL.076-444-3134 FAX.076-444-3478



E-mailは左記のお問い合わせフォームよりお送りください



「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月(年5回)発行で新聞折り込みにより各家庭にお届けするほか、県の各施設や市役所・町村役場、図書館のほかコンビニエンスストア(一部)でも配布しています。また、本号とバックナンバーは県のホームページで閲覧できます。

◎「県広報とやま」には点字版と音声版もございます。上記までお問い合わせのうえ、ぜひご利用ください。

県広報とやま